國民貯蓄戰線に活躍する簡易保險（一）

平郵便局長　牛崎久吉

◇國民貯蓄の重要性

皇軍の過去一年餘に亘る赫々たる戰果と銃後國民の上下協力一致、盡忠報國の意氣の益々旺盛なことは、東亞の盟主たる帝國の光榮を全世界に顯示するものであつて國民の齊しく感激に堪へないところである。今や帝國は國家の總力を擧げて只管聖戰の目的に向つて聖戰苦難を續けつゝあるが、帝國がこの多難なる長期戰に於て終局の勝利を博することの絶對に必要であり、そのためには戰時經濟力の基礎が充分に培ひ、經濟的に長期戰に耐へることが先決條件である。

從つて銃後を護る國民は一層堅忍持久、國民精神總動員の趣旨を益々強調實現し、一致團結、滅私奉公、國策の要求する所に協力せねばならない。即ち國民は戰時經濟力の重要な源泉であるところの國民貯蓄を高度に實踐することは、公債による政府資金の調達を容易ならしむるばかりでなく他面物資購買の傾向を抑制して輸出貿易を圓滑にし、又國民經濟生活の安定に對して少からぬ寄與をすることゝなるのである。

◇貯蓄の方法

然らば、その貯蓄は如何なる樣にするか、それには樣々あつて固より制限を加へる必要はないが、現下非常時局は國家の總力を擧げて只管聖戰の目的に向つて邁進するの秋であるから、單純な金錢貯蓄とは自ら異つた意義と作用をもつ、即ち生命保險を各人が利用することに依つて自分自身並に一家の經濟生活を確立保障するのみならず、その保險料から成る積立金は或は戰時公債の消化に或は時局のために必要な産業資金等として國民が國の財政經濟政策へ協力すると言ふ點に於ては所謂一石二鳥の効果を擧げるのである

初秋低唱

佐藤清長

（上）

○桟台に星の降る夜を斜めかけ冴ゆる白々と天の川

○穂すゝきのしどけなきまで咲きほこれ月夜明るくなりて寒たれり

○街行くとうろこしろの幼なさは虫賣る店に寄りて佇しむ

○入江潟潮のとよみて秋の日の空の雲影浮かしをりけり

○秋來ると何のおもひそ湧き出でゝ山にか行かむ海にか行かむ

暑夕乍涼

珠雲　小野務平

炎帝振威及日長
檐前簗礪汗成漿
殷雷大雨何清快
一洗乾坤分外凉

童話　赤い木の實（三）

千葉省三

——私は、ときゝ〳〵昔の鳥が夢を見ることがあります。その夢で見るお日樣は、とても美しい金色をしてゐます。吹いてくる風は香ばしい匂ひをもつてゐます。きつ青な海の波が、私の足もとへ、ザブリ〳〵、打ち寄せてゐます。たくさんの波も昔のまゝだつたのだと思つて、すつかりうれしくなつてしまふのです。

——けれど、夢がさめてないでくださいね——。見ると、眼の前には、青い海のかはりに、灰色の屋根の波、渡り鳥の聲と思つたのは、人や車の、さう〳〵しい響なのです。

——もう、夜明けですねえ。

小鳥さん。間もなく、木樵が、私を伐りにやつて來るでせう。今朝は早くから仕事にかゝると云つてゐましたから。

——では、ごきげんよう。どうぞ、私のことを、忘れないでくださいね——。

いつか、東が白んでゐました。大木は、朝風にからだをふるはせて、その長い身の上ばなしの口を閉ぢました。

町では新しく街路をつけるといふので、その道に當る大木を伐り倒すために、大せいの樵夫の集つてゐました。

この神樂坂と、榎町とは通寺町、矢來下と町つゞき、目と鼻の間だから、正雪屋敷へ出入門の弟や浪人の中で、この『秋田屋』へ遊びに來る者が自然澤山ある。

近頃その連中の間に。

『おい、今度、素晴らしいのが秋田屋へ現はれたちやないか』

『あゝ彼か、彼れは木更津の漁師の娘で、お歌といふさうだ』

『漁師の娘にしては、色白、上品だ』

『裏島田に結はせて、振袖でも、着せてみたい、それこそ千石取の大身の息女と、目星をつけた駒路。

十九や廿歳の繊弱い腕でこれから、どんな活躍をしようとするのだらう。

兒の彼作でさへも、こうたう隱密であることを見破られて、今一歩で伊豆守への大事を密告しやうとしたその直前に、運拙くも正雪屋下の穴牢に投込まれて、今や死にまさる苦悶の一日を送つてゐるほどだのに、その妹の身で、しかも十九や廿歳で、どうして隱密としての大役を仕遂げやうとするのか。

それは恐らく、飛んで火に入る夏の蟲と同樣の運命に陷る外はないのではあるまいか。

つぐの日

○

肉体の奴隷なる者がどうして自由なることを得ようぞ　セネカ

講談

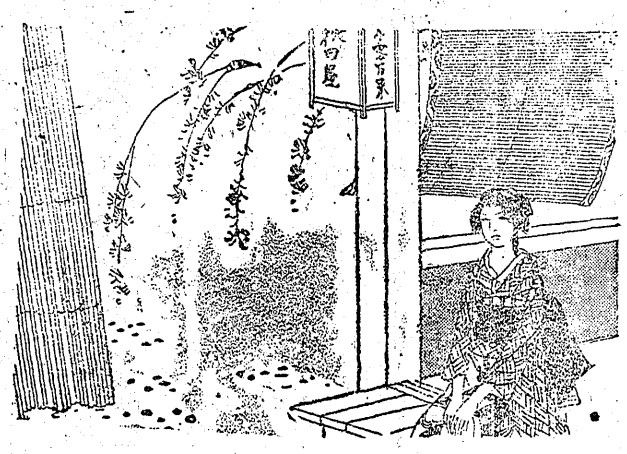
隱密と天狗

中川雨之氏作

(138)

近藤・鐵氏畫

秋田屋の美人



『おれを、幕府の隱密だと知りながら、どうして、こゝも居客に興を添へるので酒よりも料理よりも、第一ことに依つたら、優遇するのだらう』

それが人氣を呼んでゐるやうに見せかけて、しまひには、毒でも盛つて殺すつもりだらうか、とも疑つてみたが、まさかさうでも無いらしい。

これが、ほんとの、ね蒸しても恥しくないぞ』

悲の牢屋といふやつで、容易いやうな、有難くないやうなわけであつた。

と、ころが、茲に同じ牛込の神樂坂穴八幡御旅所の傍に『秋田屋』といふ小料理屋があつた。

暖簾をくゞると、店先の十間は居酒屋のやうになつてゐて腰かけで飮めるし、奥は通りぬけたやつと奥には、ちよつと洒落れた小座敷もあるといふ具合、寄種へ奉公に住み込んだ。

はいろ〳〵で、武士も來れば町人も來る。仲間も職人もやつて來て、登となく夜となく、なか〳〵の繁昌。

殊に小綺麗な婢が四五人

『木更津の漁師の娘でございます』との觸れ込みに、

『秋田屋』の主人、

『これは、飛んだ掘り出し物だわ』

と眼を圓くして驚いた。

偖て、正雪門下の連中が

味郷のサービスデー

本日よりおでん茶めしを初めました毎月二十日はおひいき御禮としてお酒とビールをお勉め致します。

サツポロビール　一本　卅八錢
白菊正宗　一本十八錢
君德　一本廿八錢
松竹梅　一本五十錢

◆お肴は燒鳥（三丁目裏）トンカツ

平市三田小路

味郷（みさと）

夜間診療

胃腸肺病

內科　胃腸病科　性病科　皮膚科

專門

范綱病科　性病科　皮膚科

（見習看護婦募集）

松村醫院

（平市南町電一〇七番）

平みやげ

米やの最中

御進物用各種折詰

高級最中

米や最中專門店

耳鼻科　咽喉科　專門

平市南町一六番地

大和田醫院

（入院隨意）（病室完備）　電一七〇番

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科

平市六丁目（橋際）

木村外科醫院

電話三〇九

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋

二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達

銅鐵機械　KS　井尻七三郎商店

荷受場倉庫　福島縣平市鍛冶町十一　電話五二二番　平市鍛冶町廿三番地　平市鍛冶町九番地

御買上品精々御安く納品至ます
御拂下品は精々御高値に買受ます
十二封度レール、トロ車輪付屬附
鐵工工具品、新品着荷致しました

故障の起らぬ

原口のラヂオ

ラヂオで聽こう。時局ニュース

ラヂオは是非——

專門店……へ

原口無線電機株式會社代理店

古山電氣商會

平市二丁目（警察署通り）

電話（呼出）166

日本姓名學會東北支部長

鵜沼孝昌

平市紺屋町三六

鑑定項目

命運の代一てみの前名……るかわもてん何

体力（肉体（健康、不健康、相貌）病気（病根病勢、病名）に關する一切）
活動（職業（適業、不適業）天運（成功、不成功）に關する一切）
血緣（家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）男女緣）

外科、內臟外科　院長安齊徹
エツキス光線科

（新設）産婦人科　醫學士黑澤○

平市田町

入院隨意　安齊醫院

電話四七五番

耳鼻咽喉科專門

醫學士　鈴木正男

平市田町（電話五八番）藤田女學校前

「入院のお書きに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科

日本齒科醫學士　鈴木喜政

內鄉村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

吸入器具

モノサシ　マス　カリ　體溫器　寒暖計

開業以來信用第一

內藥

電話四〇番

平みやげ

味覺の秋となしまりなき

毎度有難う御座います
滋養豐富な
ニコ〳〵のもち飴を
おすゝめ致します。

御進物用箱入　¥20 30 50 70 1.00

御下命次第迅速に配達致します。

平市新川町

ニコ〳〵飴本舖

電話四四九番

空冷式　健康陶枕

笑はれる程よく眠れる、疲勞倦怠を快復し精力記憶力を增進する實用新案の健康陶枕

効能

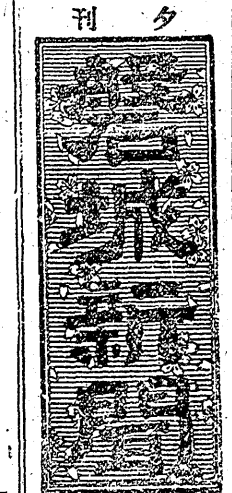
腦を酷使する人、腦神經衰弱の人は勿論この空冷式健康陶枕を……
高血壓症　のぼせ症
腦溢血症　耳鳴、頭痛症の方に
不眠　特に卓効あり

平市五丁目

特約店　入江陶器店

電話五八二番

夕刊



九月三十日發行

定價　金拾五錢　郵稅金五錢

廣告料　一段　一回金九拾五錢　二段　一回金六拾五錢　三段　一回金四拾五錢

發行所　東京城新聞社

（日曜祭日翌日休刊）
東京振替登一〇六・五八三番

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩も明日も北の風曇時々晴

石城染色組合から
原料配給方を陳情
縣から近く主務省へ進達

統制地方の動き

當今の物資統制に因り營業原料たる綿布を失つた爲め、殆んど轉廢業の餘儀なき迄に最も深刻な影響を被つた市郡下の染色加工業者は此際の更生策を講ずるため、原料の配給、必要材料の購入、價格の協定等に關し同業者の結束を固め時局に卽應するを目的とする石城染色加工々業組合を創設し、先決問題として原料の適當なる配給方に關し、因つて死活の岐るゝ所以を詳述して當路に陳情書を提出すべく曩に縣當局を經由の手續き中であつたが、最近大体書類の形式が具備し愈よ主務省に進達の手續が決定したとの事であるが右組合は地方同業中率先して創設された縣下唯一の團体であり、將來の活動經過を刮目されてゐる

躍進小名濱に
駐在所增置方內申
機能發揮の萬全を期す

築港工事の完成によつて近得ない程の手不足にあるの來とみに躍進振りを示してゐる小名濱町はこれと共に人口も漸增、從つて警察事務も相當輻湊し來して居り、現在の狀態ではかなり市制實施後の警察經營が叫ばれてゐる、現在は西條氏の後を繼いだ林警部補の監督下にあつて四巡査が緊密な連絡の下に諸般の事務を進めてゐるがこれではどうしても完全な事務の執行は出來ラウンドで体育大會を開く

青年對抗軟式野球　市職合靑年團では

來月十六日午前、第一兩球場に市內靑年團對抗軟式野球大會、十一月三日磐中グ

驛前も十時限り、
內鄕、好間を包含せず
平市と商店法實施

愈よ明十月一日から實施さるる商店法に關し、市商工會が今春マルトモで催した會同に於て諮問事項として研究論議した

一、適用地域（隣接內鄕、好間の隈迄包含）

二、閉店時刻の特殊地域（平驛前の店舗を認む）

に對しては縣から其の必要無き旨其筋に申報したので適用範圍は市の區域に止まり且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

あす小運送業法實施記念日

小運送業法が實施されて明一日は滿一週年記念日、平驛では當日午前九時から驛樓上に市內運送關係業者五十餘名を招いて山崎驛長から無き旨其筋に申報したので適用範圍は市の區域に止まり且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

今以て無事息災は
御後援のお陰
市內立町出身　高橋達男君（通信）

とし全將兵の勇戰一番奮起を要する時に有之候へば小生は鈴木敬義訓導のタクトで猛練習、晴の壯途につく兵隊さんの見送り等にも進出石坪磐炭經坑鍛治職鈴木菊豐收の笑みをたゝへて、その向ふの畔道を過ぎ行く顏顏上に市內運送關係業者五十餘名を招いて山崎驛長から中島鐵相の訓示を傳達する、更に鐵道ではこの日かれ且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

陣中を聽く
（251）

時下秋冷の歎呼の聲に送られて祖國を

今以て無事息災は
御後援のお陰に
市內立町出身　高橋達男君（通信）

とし全將兵の勇戰一番奮起を要する時に有之候へば小生は鈴木敬義訓導のタクトで猛練習、晴の壯途につく兵隊さんの見送り等にも進出石坪磐炭經坑鍛治職鈴木菊豐收の笑みをたゝへて、その向ふの畔道を過ぎ行く顏顏上に市內運送關係業者五十餘名を招いて山崎驛長から中島鐵相の訓示を傳達する、更に鐵道ではこの日かれ且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

陣中を聽く
（251）

時下秋冷の歎呼の聲に送られて祖國を

平市の健康
種族保存の過剩を憂ふ
失業氏令夫人の悲哀

六分の商賣もの、之亦都市の爛熟と頽氣に四分の纖唐さを語る一形態として今奇を取り交せ更目に角立てて不思議がるたエネルギッシュな女性の

0

醫者が若くなると云ふ傳あられも無い取引場すらあると云はれる平なんである。お屋敷シーズンである。お屋敷ら蚊の啼く樣な聲で語り出し」とか其の道の大家の各戰北の某家庭の奥さんの僞ルトもから買つて讀んでるる婦女界を讀むなんかよりは遙かに六つかしくなつて來たんである

0

自慢ぢやないが自分として他人樣に遲れを取らず、千四の時から經驗してゐる郎の金で此間も求めた皆出來る說が無いんですのを聽いた丈けでお米五升代の赤誠」の三標語を要所に揭出徹底をはかる

一日使命宣揚、二日精神作興、三日貨物愛護、四日に關し協賛

極力、節約せよ！
市で實行豫算編成

輸株式會社では「一身報國一心運送」「將士は銃劍、吾等は運送」「運送報國、銃後皆產組合では五日午前十時から平團体事務所に總會を開き十三年度追加豫算、國所の炭告柱も立たうと云ふ張、三度のご飯も捗が行く樣な盛祥式で立て板に水のないんですの——何たかマ

平市の十三年度豫算は時局柄青沼市長の節約方針に基いて各課とも極力これを緊縮執行してゐるが非常時下にあつて今後一層その實をあげるべく政府の今年度實行豫算編成方針に卽應した程實行豫算を編成の上各項目別に節約標準額を決定昨二十九日廳內課長、主任に提示した、これに基いて今後は廳內一同「緊褌一番」極力整理節約を旨としてその實効をあげることになつた

煙草肥料
借入
割當二萬六千圓

合計二萬六千圓の割當てが平方部八千圓、植田方部一萬八千圓

合では昨報の如く明十一日平團体事務所に肥料資金借

互融會事件
終結
三萬四千餘圓を橫領

濱三郡を舞台に細民階級から吉血をしぼつた市內才槌月迄約二千名から三萬四千百七十九圓餘を橫領、生活費等に當てたもの

司法記念日に午前

鮫川堰復活
工事
組合で臨時會

地方民が多年待望の鮫川堰改鑿工事は小名濱町に大工場を建設する等最近地方に於ける進出目ざましい日曹工

稔る秋に甦る農村
——嬉し二日續きの休日

十月曆

◇……夜氣に啼く

コホロギの聲も一の寒蟲をすゝれば一入と、しは啼々と、稻穗を渡る風二十四日はもつ霜降。サラリーマンには待ちに待つた十六日の昨二十九日廳內課長、主任に提示した、これに基いて今後は廳內一同「緊褌一番」極力整理節約を旨としてその實効をあげることになつた

◇……梨子の出來栗もよかつたが柿もまた鈴なりくわね煙管に胴んぼを打ち眺める老爺の顏もニツ！と豐收の笑みをたゝへて、その向ふの畔道を過ぎ行く顏

沿線を荒す
元平機關庫員　中條實君

お蔭樣にて小生相變らず元氣御安心下さい。九月に入つて漸く朝夕な薄氷き時もある程です。最近蔣介石の秘密命令を受けた敗殘兵共がお得意の後方攪亂を企圖し沿線を荒すので油斷がなりません。最近結構ざまに線路通信線の破壞もあり、當驛も二三運轉して無事されましたが又々立派す、先は取

朝は寒いが
市內三倉町　木村長久君

此所は今の處朝が寒くて日中は迚も暑いです。もう多服です。寒くても一生懸命ですから何卒御休心下さい。此の繪（略）は二枚續陣營今回は御隙もなく及ばず乍ら今日軍誠卒公の念を體め十分皆後方攪亂を企圖し沿線を荒すので油斷がなりません。最近結構ざまに線路通信線

驛前も十時限り、
內鄕、好間を包含せず
平市と商店法實施

愈よ明十月一日から實施さるる商店法に關し、市商工會が今春マルトモで催した會同に於て諮問事項として研究論議した

一、適用地域（隣接內鄕、好間の隈迄包含）

二、閉店時刻の特殊地域（平驛前の店舗を認む）

に對しては縣から其の必要無き旨其筋に申報したので適用範圍は市の區域に止まり且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

あす小運送業法實施記念日

小運送業法が實施されて明一日は滿一週年記念日、平驛では當日午前九時から驛樓上に市內運送關係業者五十餘名を招いて山崎驛長から無き旨其筋に申報したので適用範圍は市の區域に止まり且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

今以て無事息災は
御後援のお陰に
市內立町出身　高橋達男君（通信）

とし全將兵の勇戰一番奮起を要する時に有之候へば小生は鈴木敬義訓導のタクトで猛練習、晴の壯途につく兵隊さんの見送り等にも進出石坪磐炭經坑鍛治職鈴木菊豐收の笑みをたゝへて、その向ふの畔道を過ぎ行く顏顏上に市內運送關係業者五十餘名を招いて山崎驛長から中島鐵相の訓示を傳達する、更に鐵道ではこの日かれ且つ定刻以外の營業地域は之を認められぬ事に決定

陣中を聽く
（251）

時下秋冷の歎呼の聲に送られて祖國を

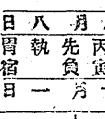
十五日

沿線を荒す
元平機關庫員　中條實君

お蔭樣にて小生相變らず元氣御安心下さい。九月に入つて漸く朝夕な薄氷き時もある程です。最近蔣介石の秘密命令を受けた敗殘兵共がお得意の後方攪亂を企圖し沿線を荒すので油斷がなりません。最近結構ざまに線路通信線の破壞もあり、當驛も二三運轉して無事されましたが又々立派す、先は取

朝は寒いが
市內三倉町　木村長久君

此所は今の處朝が寒くて日中は迚も暑いです。もう多服です。寒くても一生懸命ですから何卒御休心下さい。此の繪（略）は二枚續陣營今回は御隙もなく及ばず乍ら今日軍誠卒公の念を體め十分皆後方攪亂を企圖し沿線を荒すので油斷がなりません。最近結構ざまに線路通信線



諸判定應準
東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神藏館

▲一白　心神をはげまして働くときは福事も成るべし▲二黑　陰合變化の多き日物始めは勿論遊行も

八	七	六	五	四	三	二	一	日
執	危	成	收	開	閉	建	除	宿
八	月	丙	土	新	十			
日	宿	寅	負	月	一			

平病院
（平市元共濟病院跡）
（電話六四一番）

院主　醫學博士　鈴木定藏
院長

內科　院長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
內臟外科　副院長　高橋俊幸
皮膚尿泌器科　部長　鈴木定藏
レントゲン科　部長　吉本孝平
物理的療法科
藥劑科　長
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

障害は——放送局指定相談所へ
御買求めは……

測定裝置完備の弊店へ

日本放送協會指定
ラヂオ相談所
HK型受信機配給所

富永ラヂオ店
平驛前　電話四九六番

日毎の
御志ること
御ぞうに
支那そば

番二三六話電

醫城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

魁文堂
代理店
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムラソリイニベン
ゼネラル、カーボン紙

靈潮（二〇三五）
千別（二五五）
七四〇（二〇〇）

一袋
（小名濱測候所製發）

注意▲三碧　殺はつの氣を出すときは成るべき事も破るべし▲四綠　初め順調に進みそうにして中途に破れやすし▲五黃　我意を通さんとすれば長上より見離なさる▲六白　尻押しして呉ゝる者あり血荷も幸抱せよ▲七赤　ほうびに吉日上に因し遊ばゝ後に注意せよ▲八白　幾變遷を重ねる日あせれば念願直下の思あり▲九紫　努力すれば無理な仕事まで仕遂げらるべし

書
外科　一般　內臟外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
診
療

〔血液檢査每日〕平市新川町〔電四六四〕
醫學博士　北川芳夫
入院デキマス。
技師　三浦常保